

平成30年度第3回補助金等審議会記録			記録者	財政課	場 所	本庁舎 第二委員会室
実施日	平成30年11月1日(木)		時間	午後1時15分から午後4時40分		
概 要 質 疑 等						
課等名						
事 業 名	質疑 番号	内 容			回 答 ま た は 措 置	
<b>商工観光課 13:20~13:45</b>						
神栖市商工会補助金	1	商工会からの補助申請が平成28年度から平成30年度まで同額となっています。運営上内部留保も必要かとは思いますが、どれくらいの内部留保があれば、補助申請の額が下がっていくのでしょうか。			市から商工会にどれだけの補助金があれば、運営上問題ないかといった把握はしておりません。しかし、商工会から商工会館の建て替えも視野に入れているというお話を伺っていますので、内部留保がある程度は必要かと思えます。	
	2	商工会は収益を上げてはいけない規程などがあつたりするんですか。			収益事業はやっても良いということにはなっておりますが、しかし、商工会本来の事業自体に支障が出るようなことは行わないようになっています。	
	3	収益が上がる事業が増やせないのであれば、会員を増やすしかない。その努力をしなければならぬのではないですか。			商工会では相談に訪れた方への勧誘と四半期ごとに加入案内のDM送付を行っています。	
<b>商工観光課 13:45~14:07</b>						
神栖市観光協会補助金	1	収支計算書を確認したが、事務経費が高すぎるのではないか。市補助金や助成金など市に頼りすぎで自助努力が働かないのでは。				
	2	事業を減らすと観光協会の活動は衰退していく。事業を減らさず人件費等のコスト削減を検討すべきだと思います。観光協会がどういった努力をしているか市で把握しているのか。			観光協会と市で利益を上げられるような事業ができないかというような話し合いは行っています。観光の分野において、いろいろな要望や市でもお願いしたいことがあるのですが、観光協会の現在の職員体制では、事業を増やせない状況にあります。	
	3	市ではこれから観光協会と協力してどういったことに力を入れていきたいのでしょうか。			県外自治体のイベントでPR活動を行っていきます。市だけではうまくいかないもので観光協会と協力して幅広くPRしていけるようにしていきたいと考えています。	

環境課 14:07～14:35

水道事業給水工事奨励金	1	普及率が92%を超えているのであれば補助金を縮小していくのでしょうか。	給水人口はまだ増加傾向にあります。行政区からの要望もあり毎年整備はしておりますが追いついていない状況です。こうした方々がやっと水道が通ったときに補助金がなくなっていると不公平感を感じるとお思いますので継続をしていきたいと思っています。
	2	給水可能区域にもかかわらず地下水を使い続けている世帯はどういった理由で水道を使わないのか。	昔から井戸水を使っている、自分が住んでいる地区の井戸水がおいしいと思っている方もいますし、水道料金がかからないため井戸水を使っている方もいます。しかし、安全性の面から見れば井戸水は自分で検査を行っても、一年に一回程度ですが、水道水は水質を市で管理しているため、市としてはPR活動を行い、水道を利用して頂きたいと考えています。

水産・地域整備課 14:35～14:55

漁業近代化事業利子補給金	1	この利子補給は具体的にどのようなものが対象となりますか。	水産加工業者も使えますし、漁協なども使えますので倉庫ですとか漁具等、イメージできるものは大体使えます。ただし運転資金は対象となりません。
	2	補助金の額が少ないように感じるのですが、申請が少ないということなのでしょうか。	現在近代化資金の他に政府系の資金ですとか、東日本大震災に関連する国の補助事業を活用している方が多数いますので、近代化資金の利子補給はこのくらいで推移しています。

水産・地域整備課 15:05～15:19

漁業経営対策資金利子助成金	1	運転資金は対象になりますか。	震災で漁に出られないために減収等の被害を受けた方への支援なので、運転資金は対象となります。
	2	この制度は平成31年度で終わりでよろしいですか。	東日本大震災に特化した資金のため、次の災害があれば新規に補助制度を創設することになります。震災直後の受付期間のあとに新規の申込みは受け付けられません。あくまで限定的な資金という扱いとなっています。

子育て支援課 15:20～15:55			
民間保育所運営費助成金	1	補助金の効果を検証したいがデータがない。補助金が保育所の運営にどのくらい使われているのか資料がないのですか。	補助金交付の内訳としましては、28年度の実績で障害児保育が1,021万6千円、職員の処遇改善に係るものが3,955万7千円、保育環境改善事業費に係るものが1,692万4千円、乳児保育支援助成事業に係るものが1,335万円になります。
	2	補助対象が障害児保育に係る経費、処遇改善に係る経費とありますが、そこで働いている保育士の方々は民間も公立も同じ給料で働けるという意味の補助金になっているのでしょうか。	民間と公立に今現在は差があるので、民間に対して補助をしながら処遇の改善を図っています。
	3	他市町村から見ると神栖市に勤務の保育士は優遇されているということですか。	障害児については、鹿嶋市と同等の取り組みを行っています。ただし、処遇改善においては近隣では神栖市以外は未実施です。長く勤めている方が増えているため、保育環境の変化が少なく安定した保育サービスが提供できると思います。
	4	平成30年4月1日現在で10人の待機児童となっているが、理由は。	両親が正規、フルタイムで働いている方はほぼ入所できています。そのため、この10人については求職活動中であつたり、近くに祖父母がいるご家庭などです。
文化スポーツ課 15:55～16:33			
神栖市子ども会育成費助成金	1	子ども達や地域の環境も変わってきているので、子ども会自体を変えていく必要があると思います。子ども会の加入率が55%程度まで低下しており、公平性も保てなくなっていると思います。	子ども会の運営については、保護者の方がかなり苦勞されていると思います。子ども会があればこれもと、たくさんの行事を行う必要はないと考えています。子ども会の活動は地区によってニーズも様々ですので、子ども会の中で取捨選択をしていただき、運営していただきたいと考えています。
	2	加入率の高い・低い地区の統計を分析する必要があるのではないのでしょうか。	行政区の加入率と比例しています。地域活動に参加をする・しないという考え方が、行政区の加入と子ども会の加入という点で共通していると思います。
	3	モデルケースがあれば取り組みやすいのではないのでしょうか。活用できるデータがあれば公表していくのがいいと思います。	